

九州オルレハイキングコース

オルレハイキングコースの由来

オルレという言葉は、韓国の済州島の方言から来ています。韓国語で、通りと人の家の間にある細い道を意味しています。この考えが発展して、島の海岸全体を覆う一連のウォーキングコースになりました。ビーチや小さな村から農場や森まで、さまざまな風景を楽しむことができます。

済州島コース

済州島には現在、メインルート 21 本とサブルート 5 本の計 26 本のコースがあり、総延長 425km に及ぶ。コースの難易度は様々で、自分に合ったコースを選ぶことができます。済州オルレ情報センターでは手帳を購入することができ、ルートに沿ってスタンプを集めることができます。

九州オルレのコース

九州オルレは、済州オルレの姉妹版で九州の 21 のウォーキングコース(2021 年 2 月時点) を指します。九州オルレはもともと韓国からの観光客を誘致するために作られたもので、一年を通して九州の四季折々の景色を楽しむことができるように設計されています。九州オルレの公式コースとして認定されるために、各コースは済州オルレの組織で厳しく管理されており、コースが分かりやすく、様々な体験ができるようになっています。済州オルレと同様に、九州で手帳を購入することができ、コースを完走すると同時にスタンプラリーにも参加することができます。

九州オルレの全コースを合わせた距離は 200km 以上で、中級者から上級者の方におすすめのコースです。コースには様々な道標があります。馬の形をした「カンセ」と呼ばれる馬の頭がコースの方向を指した標識に注目してください。木の矢や石の上に描かれた矢も指示棒として機能します。リボンは 100～200 メートルごとに設置されており、歩行者がコースを歩けるようになっています。道標はすべて青と赤で色分けされています。青は標準的な歩行コース、赤は本コースから外れたルートを示しています。